

| | | | |
|--------|--|------|---|
| 学校教育目標 | 自ら学び よりよく生きようとする「板城っ子」の育成 自分が好き 友達が好き 学校が好き ふるさと板城が好き | 経営理念 | 【ミッション】(自校の使命) 確かな学力と社会性を身に付け ともに伸びようとする人間力の育成 【ビジョン】(自校の将来像) ・活気のある温かい学校 ・自らかかわり、伸びようとする子どものいる学校 ・教育公務員としての自覚と意欲をもち、協働して本校教育を創造する教職員のいる学校 |
|--------|--|------|---|

| 評価計画 | | | | | | 自己評価 | | | | 学校運営協議会による評価 | | 改善方策 | | |
|---------|----|------------------------|---|--|---|----------------------|----------------------------|------|------|--|---|------|------|------|
| 項目 | 重点 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 目標達成のための方策 | 評価項目 | 目標値 | 達成値 | | 達成度 | 評価 | 結果と課題の分析 | 評価 | コメント | 改善方策 |
| | | | | | | | 10月 | 2月 | | | | | | |
| 確かな学力 | 1 | 自ら学ぶ態度の育成と学力の向上 | 基礎・基本の学力の定着・向上 表現力の向上 | ○主体的にかかわりあって学ぶ学習活動の実践 ○表現力を育成する学習活動の実践研究 | ・単元末テストの思考・判断・表現項目の正答率70%以上の児童の割合 ・全国学力、学習状況調査、NRT学力検査【全国平均値以上】 | 80% | 単元末テスト 82.5% | | 108% | 3 | ・単元末テスト(国語科・算数科)の割合は、82.5%だった。どの学年も算数科より、国語科の達成率の方が高い傾向にあった。 ・2年生から5年生対象のNRT学力の結果、国語は全学年全国平均値を上回った。算数は、4学年中3学年が全国平均値を上回った。6年生対象の全国学力、学習状況調査は、国語・算数ともに全国平均値を上回った。 | | | |
| | | | | ○ICTの効果的な活用の推進 | ・情報活用に関する児童アンケートの肯定的評価 | 80% | 児童アンケート肯定的評価 86.7% | | 112% | 4 | ・「インターネットを使って、知りたい情報を集めることができますか。」という設問に肯定的回答だったものは、89.3%だった。 ・「発表のための資料を作ることができますか。」という設問に肯定的回答だったものは、89.7%だった。 | | | |
| 豊かな心 | 2 | 社会生活を円滑に進めたいける資質や能力の向上 | 自己指導能力の育成向上 自己肯定感の向上 | ○自分や友達の良さに気づき、自己肯定感を味わう活動の推進 | ・児童アンケート「自分の良さや友達の良さに気付いている、自分の良さが認められている」と感じている児童の割合。 ・教職員アンケート「児童に思いやりの心や多様な他者と協働する力が付いている」と感じている教職員の割合。 | 85% | 児童アンケート肯定的評価 92% | | 108% | 4 | ・児童アンケートの結果、自己肯定感や他者肯定感が高い児童が多かった。また、教職員アンケートでも他者と協働する力が付いていると感じている。10月に取り組んだ「長縄チャレンジ」など友達に声掛けしながら取り組んだ結果だと考えられる。今後も、行事などを通じて自分や友達のおよきに気付けるようにしていきたい。 | | | |
| | | | | ○学級の支持的風土を醸成し、学校満足度を向上させる活動の推進 | ・hyper-QUIにおける学級生活満足群の全校児童の割合。 | 78% | 82% | | 105% | 4 | ・「いじめゼロ運動」や「長縄チャレンジ」など各委員会が中心となって全校に呼びかけ、学級で協力して行う活動ができた。hyper-QUIを生かして、学級での計画的指導と援助をしていく。 | | | |
| 健やかな体 | 3 | 健やかな心身の育成 | 体力の向上 | ○体育朝会(板城っ子ランニング・縄跳び・マッスル体操等)の充実 ○体を動かす場と機会を確保する。 | ・新体力テスト「50m走」の記録が伸びた児童の割合。(4月・11月実施) | 75% | 11月に実施する50m走をもとに伸びを評価する。 | | | | ・体育朝会は月2回、ランニングや縄跳び、マッスル体操を実施した。また、夏休みにおすすめの運動を呼びかけた。体育委員会でも全校へ向けて外遊びを推奨する取組をしている。 | | | |
| | | | 健康的な生活習慣の形成 | ○生活習慣の改善とメディアとの適切なかわり方に関する指導の充実 | ・「板城元気っ子デー」での生活習慣に係る項目を全てで達成した児童の割合。 | 90% | 板城元気っ子デー9月6ポイント以上 98.6% | | 110% | 4 | ・9月実施の「板城元気っ子デー」の結果では、生活習慣の定着率(6ポイント以上)は98.6%だった。メディアに関しては、適切な使用を含む保健指導を実施したことや昨年度から継続して取り組んでいることの結果である。今後も体育朝会や給食放送等で指導を行い、定着を図っていきたい。 | | | |
| 信頼される学校 | 4 | 家庭・地域とともに歩む学校づくり | 家庭・地域との信頼関係の構築 | ○地域の教育力を活かした教育活動と、地域の方へ感謝を伝える取組の推進 | ・保護者及び地域へ学校行事等の参加を促すための案内を、年10回以上行う。 ・地域と連携した教育活動を各学年一回以上実施する。 | 95% | 年間計画に沿って計画的に取組中である。 | | | | ・学校行事等の案内は保護者地域へ上半期は6回発信している。 ・各学年の地域と連携した教育活動については年間計画に沿って活動中である。 ・地域のゲストティーチャーから学ぶ活動を積極的に取り入れている。 | | | |
| | | | ○学校ウェブページ更新や学年通信発行を通して教育活動について発信 ○学校情報の積極的発信(CRM)の効果的な活用 | ・「板城っ子ニュース」年間10回以上更新。学年通信を年間15回以上発行。 ・保護者アンケート「学校は教育活動の様子をわかりやすく伝えられている。」における肯定的評価。 | 95% | 保護者アンケート肯定的評価 98% | | 103% | 4 | ・HPの学年のページについては「板城っ子ニュース」に統合し、年間計画を立て組織的に取り組むことで計画的に更新できている。 ・保護者や地域からの要望を踏まえつつ、可能なものは市民ポータルサイト等を活用し、効率化していく。 | | | | |

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価
 4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成
 2...目標をやや下回って達成 1...目標をかなり下回って達成

■学校運営協議会による評価
 A...とても適切である B...概ね適切である
 C...あまり適切でない D...全く適切でない
 (N...判定できない)